

CCFJの役員

理事長 福島 恒男（横浜市立脳血管医療センター長）
 副理事長 高添 正和（社会保険中央総合病院内科部長）
 副理事長 福田 能啓（兵庫医科大学消化器内科助教授）
 常務理事 屋代 庫人（元JR東京総合病院成人科部長）
 理事 中村 丁次（神奈川県立保健福祉大学教授、日本栄養士会会長）
 理事 長尾 眞澄（アルカディア副施設長、東京都看護協会前会長）
 理事 宮沢 盛男（埼玉IBDの会）
 理事 田中 昭生（旧ひこばえ会）
 監事 岡本 秀雄（横浜弁護士会元会長）
 顧問 武藤 徹一郎（癌研究会附属病院長、厚生労働省特定疾患研究班元班長）
 顧問 朝倉 均（新潟大学名誉教授、国際医療情報センター理事長）
 顧問 小倉 敬一（千葉保健センター所長、全国保健所長元会長）
 顧問 棟方 昭博（元弘前大学第一内科教授）

※2007年6月30日現在

会員について

CCFJには下記のとおりの方がいます。種類に関わらず会員の皆様にはIBDニュース及びイベントのお知らせ等をお送りします。

正会員：この法人の目的に賛同して入会し、この法人の運営を推進する個人及び団体。総会の議決権は有する。

準会員：この法人の目的に賛同して入会し、この法人の事業に協力する個人及び団体。総会の議決権は有しない。

年会費 個人 1口 1,000円（3口以上）
 団体 1口 10,000円（1口以上）

※各正会員の表決権は、個人、団体問わず会費の多寡に関わらず平等なるものとする（定款第30条より）

賛助会員：この法人の事業を賛助するために入会した個人及び団体。総会の議決は有しない

年会費 1口 10,000円（1口以上）

※正会員、準会員、賛助会員とも入会金なし

ボランティアについて

イベントボランティアについては、そのつどホームページやIBDニュースの紙面ににて募集いたします。

入会方法

このパンフレットに添付の入会申込書に所定事項をご記入の上、事務局宛に郵送またはFAXしてください。

年会費については、下記のいずれかの口座へご入金ください。後日会員証を送付します。会計年度は4月1日から翌年3月31日です。入会年度にご注意ください。入会申込用紙はオリジナル（またはコピー）を各自保管してください。払込票の控えは各自保存してください。

住所変更などは速やかに事務局までお知らせください。

<口座>

- 三井住友銀行 銀座支店（支店コード：026）
 口座番号 普通 7647323
 口座名義 特定非営利活動法人 日本炎症性腸疾患協会
- 東京三菱銀行 新宿中央支店（支店コード：469）
 口座番号 普通 5568986
 口座名義 特定非営利活動法人 日本炎症性腸疾患協会
 理事長 福島 恒男
- 郵便局 口座番号00130-4-500584
 口座名義 NPO法人 CCFJ

※預金口座からの振替による年会費納入方法もごさいませ。詳細は事務局までご連絡ください。

寄付について

弊会では、事業を行ううえで、できるだけ受益者の負担を少なくすると同時に最小限の経費で実行できるよう努力しております。しかしながら発足間もない法人であり、財政状態は豊かではありません。つきましては、趣旨にご賛同いただける個人・団体の方々におかれては、なにとぞご支援賜りますようお願い申し上げます。ご寄付いただいた方々には、決算報告書をご送付させていただきます。

<口座>：上記会費振込み口座と同様

問い合わせ先

NPO法人 日本炎症性腸疾患協会（CCFJ）事務局

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-22-1 社会保険中央総合病院内

TEL:03-3364-0514 FAX:03-3364-0515

Mail : info@mail.ccfj.jp

ホームページ : http://www.ccfj.jp/



Crohn's & Colitis
Foundation of Japan

NPO法人 日本炎症性腸疾患協会

CCFJとは……

日本炎症性腸疾患協会（CCFJと呼んで下さい）は、2003年10月に、4名の発起人代表（福島、高添、福田、屋代）をはじめ関係者があつまり設立総会が行われ、CCFJが組織として発足いたしました。その後、2004年5月にNPO法人として認証され、活動を開始しました。

設立趣旨

炎症性腸疾患（以下、IBD）である潰瘍性大腸炎やクローン病は、原因不明であり、根治的治療が確立していない難病対策対象疾患となっており、その患者数は著しく増加しています。診断基準や治療指針は策定されていますが、今なお患者様、およびご家族の方々の生活面や病状に応じた対応は十分であるとはいえません。

このような状況のなか、JFCC（Japanese Forum for Crohn's & Colitis Patients 以下、JFCC：日本炎症性腸疾患QOL研究会）は、1995年よりIBD患者様やご家族の方々のより良い社会生活への一助たらんと願って、有志の医療従事者と関係者によるvoluntaryな活動を行って参りました。具体的には、IBDニュースの刊行配布、腸管障害セミナーの開催、市民公開講座の開催、料理レシピの刊行等です。しかしながら、多くの患者様やご家族の方々は、生活上の問題や不安を今なお抱えた状況にあります。

そこで、JFCCの従来の活動を充実させていくには、公的法人とすることが必要との結論に至りました。すでに欧米では、CCFA（Crohn's & Colitis Foundation of America）を始めとしていくつもの財団がIBDの支援活動を行っています。

今後は、NPO法人 日本炎症性腸疾患協会（CCFJ：Crohn's & Colitis Foundation of Japan）として、患者様を中心としたノーマライゼーション社会の実現を支援していきたいと考えています。

CCFJの目的

潰瘍性大腸炎およびクローン病などの炎症性腸疾患が広く社会一般に理解されることにより患者様およびそのご家族の生活の質（Quality of life：QOL）の向上に寄与する

CCFJが行う事業

炎症性腸疾患に関する……

- ① 刊行物の発刊とその配布
- ② 市民公開講座、医療相談などの情報提供活動
- ③ 市民、医療機関、公的機関、企業などのネットワークづくりの推進
- ④ 国内・国外の交流の支援
- ⑤ 原因および治療に関する研究支援
- ⑥ 新薬ないし新しい治療法の情報公開

CCFJに期待する機能／役割

～設立記念イベントアンケートより～

- ・ 特定疾患研究の状況（新しい治療法や薬剤、データ等を含め）のわかりやすい情報提供
- ・ 医療機関や研究機関名の情報提供
- ・ 疾病に伴うストレスや他疾患の対処法の情報提供
- ・ 食事に関する情報提供
- ・ 自治体（保健所等）の講座企画等への協力
- ・ プロフェッショナルな企画イベント
- ・ 厚生労働省（特定疾患研究班も含め）、自治体保健所、関係企業、患者団体等との連携

現在行っている活動

- ・ IBDニュースの発行
年4回のペースで会員、患者会、保健所へ配布
- ・ ホームページでの情報提供
CCFJのサイトでIBDニュースやレシピを紹介
- ・ 市民公開講座の開催
年2回を予定
- ・ BD教室（疾病セミナー）／料理講習会／個別相談会の開催
- ・ 啓発用関連情報誌（有償／無償）の発行
「いただきます」、IBD関連専門書、管理栄養士のためのクローン病栄養指導サポートブック（有償）、CCFA翻訳本（準備中）等

準備中及び検討中の活動

- ・ CCFJ主催／後援の研究会・講演会の開催
現行のIBD関連研究会とのコラボレーション
- ・ 全国IBD専門の施設／専門医の紹介
登録施設／専門医の開示
- ・ 患者さんからの相談窓口の設置
ホームページ、電話、手紙など
- ・ IBDに関する研究開発の協力
治験情報の公開、新薬開発の患者登録、モニターなど
- ・ 保険、就労等に関する支援及び情報提供
関係情報の配信、個別相談の実施
- ・ ノーマライゼーション啓発活動
一般向けIBD解説書などの作成及び学校・企業・行政への配布

